

曹洞  
葬儀聖典

三國傳燈傳戒歷代佛祖

菩提寺開山大和尚

神丹初祖菩提達磨大和尚

南無本師釋迦牟尼佛大和尚

日域初祖永平道元大和尚

戒源現戒師大和尚

## 葬儀次第

(経本を畳の上に直接置かないで下さい。)

御寺院到着

お寺様方が到着されます。

方丈様到着

方丈様が着座されたら、直ちに

請<sup>しょう</sup>拜<sup>はい</sup>式<sup>しき</sup>

喪主及び親族代表二名は方丈様に三拜し

「お願い申し上げます」と言上する。(六十頁参照)

開式の辞

葬儀委員長又は典札による挨拶

## 剃髪カミソリの儀

合掌して偈文をお聞きしましょう

仏道入門の儀

御剃刀カミバシの偈

葬儀のはじめにあたり仏弟子となる意義が説かれ、「おかみそり」を頂戴し、煩惱ぼんぷを断除しなければならぬことが示されます。

## 授戒

「戒名」「戒法(三帰・三聚淨戒・十重禁戒)」並びに「お血脈ちくみやく」を頂戴し、仏弟子となり御仏の位に入る大切な儀式です。方丈様「戒文」朗唱の間合掌して拝聴します。

懺悔ざんげ

受戒

血脈頂戴ちくみやく

(修証義第一章・第二章・第三章の精神によりつとめられます)

# 懺悔文

合掌し故人になりかわり、御寺院方と一緒に唱和しましょう

我昔所造諸惡業 皆由無始貪瞋痴  
從身口意之所生 一切我今皆懺悔

私共は長い人生において、生きるが為に知らずく、或いは悪いと知りながらもついつい沢山の罪障を造りなしています。今葬儀にあたりそれら自分のつくりなした罪障を仏前に懺悔し、身心共に清浄となつてこそ、仏の戒法を受けることができます。

# 三歸戒

合掌し故人になりかわり、御寺院方と一緒に声たからかに唱えましょう

南無歸依佛	南無歸依法	南無歸依僧
歸依佛無上尊	歸依法離塵尊	歸依僧和合尊
歸依佛竟	歸依法竟	歸依僧竟

素直な気持になって、仏法僧の三宝に帰依することをお誓いします。此の仏法僧の三宝へ帰依の時、仏道への入信、入仏位が約束されます。

三聚淨戒

合掌して方丈様の戒文の朗唱をお聞きしましょう

第一攝律儀戒

清浄な心になり、仏の戒法をまもることを誓います。

第二攝善法戒

あらゆる善行を自から進んで行ずることを発願します。

第三攝衆生戒

自分のみならず全ての人が仏道によって済われんことを誓願します。

十重禁戒

人間として守るべき戒法(きまり)を守れることを誓います。

第一不殺生戒

第二不偷盜戒

第三不貪淫戒

第四不妄語戒

第五不酤酒戒

第六不説過戒

第七不自讚毀他戒

第八不慳法財戒

第九不瞋恚戒

第十不謗三寶戒

佛法僧をそしらない

非條理をいわない

夫婦の道を守る

悪口をいわない

おこらない

# 佛子證明

成仏の証明の御言葉です。合掌して一心にお聞きしましょう。

衆生佛戒を受くれば 即ち諸佛の位に入る

位 大覚に同じうし已る 眞に是れ諸佛の子なり

(佛様)

(修證義第三章)

方丈様のお導きにより、以上の式をもって故人は懺悔し戒法と御血脈を受け、眞の「仏弟子」となる事ができました。これより仏式にて葬儀をつとめて頂け、仏位に入る事が出来ます。

# 讀經

愈々告別の読経です。入齋諷經、齋前念誦、更には起齋念誦、山頭念誦、送棺諷經と続きませんが、お経様は、大悲心陀羅尼・十仏名・舍利札文等を繰り返します。次頁以下にそのお経様が載っておりますので低声にて御唱和下さい。

## 入棺諷經

湯灌し清められた御遺体を御棺におさめ、読経供養します。

前晚に入棺は済ましておりますが、葬儀にあたり今一度正式に読経します。  
お経様は次頁にある大悲心陀羅尼をお読み致します。